

新潟市食と花の交流センター平成 30 年度指定管理事業計画書
概要版

1. 基本方針

- ・新潟市が全国に誇る「食」と「花」の魅力を市民に再認識頂くべく、当センターに所在する「花畑」、「展示館」、「レストラン」、「直売所」を活用し、多種多様な企画事業の実施し、「ふるさと新潟」への市民意識の高揚を促し、地産地消を推進する。
- ・新潟市産の「食」と「花」の「おいしさ」や「安全性」、「美しさ」などに、多くの方が触れ合い、体感できる機会を提供することで、行政施策である新潟市産の「食」と「花」の販路の拡大及び農村と都市との交流を推進する。
- ・以上の取組みより新潟市の農林水産業の振興及び新潟市民の豊かな生活の実現に貢献すべく様々なプロモーション活動にも努める。
- ・公の施設を管理運営する者として、当センターに訪れるお客様が公平・平等で安心・安全に当センターを利用できるよう施設の利便性向上、快適な空間の提供に常に取り組み、顧客満足度の向上、施設利用者数の増加を目指し、もって、行政施策の市民への周知並びに実現に貢献できるよう努める。

2. 運営計画（自主事業含む）

- ・第一期 4 年間の運営を通じ、イルミネーション企画やレストラン、マーケットなどの特徴を活かした各種広報活動により施設に関する周知は着実に広がっていると考えるが、施設の特性・特色・利便性を市民へ一層知らしめ利用者増（収入増）を図るべく、下記の通りイベントや各種体験を実施する。
- ・当年度よりガーデンの無料開放および花とみどりの展示館の利用許可を開始し、一層の集客に貢献するものとする。
- ・4 施設連携イベントやコラボ企画など一体運営を通じたシナジー効果により、一層の賑わいの創出・利用者の拡大に努める。
- ・下記各種イベントについては、企画・広報会議、センター長会議、出店者との定例会などで効率的・効果的な広報を協議・実施し、集客に努める。

1) いくとぴあ食花大規模イベント

- ・4 月下旬の春の開花時季に合わせた大規模イベントを皮切りに、いくとぴあ食花全体で取り組む大規模イベントを年 8 回開催する。
- ・平成 29 年度に実施し一定の成果を収めた八大イベントスタンプラリーを継続実施する。

2) 各種体験教室等

- ・食と花をメインテーマにした各種体験講座を継続して実施する。
- ・当センターのレストラン、マーケット、いくとぴあ食花の食育・花育センター、こども創造センター、動物ふれあいセンターと連携した企画を検討・実施にも積極的に取り組む。

3) 外部団体主催イベント及び外部団体との共催イベント、周辺施設との連携

- ・当センター施設、特にガーデン及び展示館を活用した外部団体主催もしくは、いくとぴあ食花との共催イベントの誘致を積極的に行う。
- ・各種市民団体や学生、その他団体活動の発表の場、交流の場としての活用を積極的に推進する。

4) 周辺施設との連携

- ・周辺の集客施設とのイベント連携、誘客連携活動を実施する。

5) ガーデン及び展示館

- ・ガーデンについては、本年度は無料で開放し、一層の来場者数増、マーケット・レストラン利用者増に貢献するとともに、いくとぴあ食花全館のハブ機能として回遊を促進する。
- ・展示館については、植栽のある居心地のよい空間を演出すると同時に、展示館の利用許可による外部利用、外部主催行事の開催、イルミネーションの開催を並行実施する。

6) いくとぴあ倶楽部

- ・いくとぴあ食花来場者の囲い込みを図るべく、いくとぴあ倶楽部を継続して実施、その周知、拡大に努める。

いくとぴあ倶楽部内容	
料金	3,000 円
期間	入会日から1年間
特典	①イルミネーション入場無料
	②駐車場料金無料(駐車した当日に限る)
	③一部体験料の割引(体験参加券進呈)

7) その他

その他、いくとぴあ食花の周知及び、新たな収益の柱となるよう下記事業の積極的な PR に取り組み、利用者増を図るものとする。

- ・毎月 19 日を「いくとぴあの日」として、割引や催しを実施
- ・集いの広場を会場としたイベントを積極的に実施
- ・婚礼事業（婚礼会場、婚礼用撮影会場など）の実施
- ・ドッグラン事業の積極的な PR

3. ガーデン展示運営管理

- ・本年度は「リバーガーデン」をテーマとし、新潟市を流れる大河を花で表現する。
- ・利用者の満足度向上を目指し、多種多様な新潟市の花と緑を美しく鑑賞できるよう、工夫を凝らした展示を行う。
- ・病虫害の発生を未然に防ぐとともに、園・内の美化に務め、常に快適なガーデンを保ち、利用者満足度向上を図る。

4. 展示館展示運営管理

- ・屋内の特殊環境条件（照度・温度・湿度等）を考慮したうえで、年間を通じ季節感を持たせた修景の造成を行い、「季節感を楽しめる安らぎの空間」を創出・提供する。
- ・適切な利用許可業務を行い、稼働率の向上に努める。

5. 管理計画

1) 予算管理

- ・各種関係法令を遵守し、適切な現金管理及び預金管理を行い、現金事故を未然に防ぐ。
- ・予算の執行については、多重チェック体制を構築し、プロポーザルや相見積等により、その物品、業務に対する最適な拠出額を算出することで効果的・効率的な運用を図る。

2) 組織体制

- ・管理運営グループは、食育・花育センターとの一体運営実現のため、両センターの管理・運営グループを兼ねるものとする。
- ・企画・広報業務は食育・花育センター組織における企画運営グループと連携を密にし、充実したイベント、集客企画、広報を実現する。

3) お客様の声への対応

- ・より多くの「お客様の声」を収集すべく、常設のアンケートや HP での問合せリンクに加えて、イベント・体験時にもアンケート調査や聞き取り調査を実施する。
- ・クレームを含め頂いた「声」を検証、速やかな回答及び改善策を検討・実施し、内容によっては行政と協議し、仮に対応が不可な場合はその事由を明確に回答する。
- ・アンケート集計結果を分析、検証し、施設管理、事業運営に積極的に役立てる。
- ・アンケート情報は、運営グループ全体への「お客様の声」として、各施設にて情報を共有し、検討を重ねお客様へのサービスの向上、施設の利便性の向上に資するものとする。
- ・クレームについては、基本対応フローにより、対応者だけでなくセンター長もしくは事業責任者が誠心誠意対応し、新たリピーターとなって頂くよう努める。

4) 休館日

- ・利便性の向上及びサービスの向上を鑑み休館日を年間 24 日以内として設定。

5) 営業時間及び料金

- ・別紙「平成 30 年度新潟市食と花の交流センター営業時間・休業日一覧」及び「平成 30 年度新潟市食と花の交流センター料金一覧」参照

6. 施設維持管理（衛生管理含む）

1) 安全管理業務

- ・想定されるリスク・想定外のリスクを十分に認識し、安全に対する予防策及び発生時における対応策をマニュアル化し、定期的な訓練と予防策を講じ、安全の確保や緊急対応に繋げる。

2) 維持管理計画

- ・各構成団体が持つ維持管理のノウハウを最大限に発揮し、合理的かつ効率的な運営を行う計画を立て、これに沿った施設維持管理に努める。
- ・細やかな日常点検と、大規模修繕に陥る前に軽微な修繕を行い施設の長寿化を図る。
- ・法令及び仕様書に基づく年間計画により、仕様書を最低水準の要求事項ととらえ、お客様の利便性を常に念頭においた維持管理を実施する。
- ・利用者の導線や景観、安全を考慮し、施設や植物の特性に応じた植栽管理管理を行い、快適で心地よい空間を創出するよう努める。

3) 衛生管理

- ・仕様書、法令を遵守した清掃業務管理計画に基づいて、利用頻度を考慮した業務の提供を行う。
- ・洗剤・床洗浄剤・ワックス等には、人や環境にやさしい商品の使用を心掛け適切な管理を行い、不具合等が生じた場合は随時更新する。
- ・建物の保全に寄与できるよう配慮して計画を実施する。

7. 環境への配慮

- ・新潟市の自然を後世に引き継ぐべく、全職員に対し無駄なエネルギー消費、廃棄物等の抑制など環境を考慮した行動の意識付けを推進する。
- ・環境保全活動を実施する団体等への協力を推進する。

8. 市内産業振興への配慮

- ・発注品及び発注先の業者選定の際は、「新潟市」の業者を優先するよう努める。
- ・コスト削減に留意し、可能な限り「新潟市産」を使用するよう努める。
- ・ガーデン、展示館、レストラン及び直売所を通じた、新潟市産の安心・安全な農作物や加工品の積極的な PR による新潟市農産物等の消費拡大を推進する。
- ・上記に加え、アグリパークとも連携した新潟市産の農産物の PR、消費拡大に努める。

9. 地域連携

- 各種イベント、体験活動、プログラム等の各種事業及びガーデンや展示館の利用許可について、新潟市住民や新潟市各企業・団体との積極的な連携・協力体制を構築し、それら各種事業を成功させるよう努める。
- それら各種団体等との連携協力事業を安定的に実施し、固定客を獲得することで、いくとびあ全体のリピーターの増加、さらには新潟市の交流人口の増加、産業の振興に繋がるよう努める。

新潟市食育・花育センター平成30年度指定管理事業計画書 概要版

1. 基本方針

1) 食育・花育の拠点施設としての一体的な運営

- ・本市が誇る「食と花」を一体的に学ぶことにより、新潟の美味しさ、美しさ、豊かさを発掘する目を育て、心と身体の健康づくりを市民運動へと展開していくことを目指す。

2) 食育・花育の推進に関すること

- ・「新潟市食育推進条例」及びそれに基づく施策を総合的、計画的に推進するために策定した「新潟市食育推進計画」に基づき“にいがた流 食生活”の実践を目指し、「食育」を推進する。
- ・「新潟市花育推進計画」に基づき、花の大生産地である本市において、花や緑に親しむことにより、健全で豊かな心を培い、やすらぎのある生活、花や緑の歴史、文化を楽しむながら学ぶ「花育」を推進する。
- ・あらゆる世代の中で特に子どもに対して積極的に取り組み、様々な体験を通して、子どもの「たくましく生きる力」を育て、豊かな人間性を育むことを目指す。

3) 市民の食育・花育活動活性化に向けた運営

- ・幼稚園・保育園・小中学校での活動や授業に活用できる体験型プログラムの提供及び来場されたあらゆる人が様々な食と花に関する体験等を通して、市民の食育・花育活動をさらに盛り上げ、継続して地域に広めていく拠点施設としての運用を図る。

4) 市民との協働による事業運営

- ・食と花に関する団体、生産者、流通業界、食と花に関する専門的知識及び技術を持つ人、地域ボランティア等、様々な関係者と連携を図りながら、市民と一体になって様々な企画を展開し、事業を実施する。
- ・様々な広報活動を積極的に行い、情報発信するとともに、市民および関係者からの情報提供を受け、より良い運営に努める。

5) 周辺環境・施設との一体的な運営

- ・立地条件のメリットを最大限活用し、施設間の連携を図り、食育・花育活動がより高まる運営に努める。

2. 運営についての取り組み

1) 運営の方向性

- ・いつ来ても、自ら選び主体的に学び楽しめる常設の活動を整える。
- ・歳時記や活動の意義を実感できる特設の活動を適時展開する。
- ・校園や子供会などの団体が集団学習に生かせる団体体験プログラムシステムの運用を進める。
- ・外部人材による WS・教室等開催やボランティア活動を展開し、協働運営を推進する。
- ・いつ来ても、いやしとロマンを持てる環境整備および運用に努める。また、来館者のセルフガイド能力を高める働きかけをする。
- ・食育や花育に関する研修の場や機会の提供を進める。
- ・利用者が主体的にかかわれるパブリシティやサイン・キャプションを展開する。
- ・いくとびあ食花の複合施設としての良さを生かす

2) 運営の具体的な取り組み

- ・施設の目的を達成するために、全ての具体的な取組事業を 13 部門に明分化し、組織だったより総合的かつ実効的な事業展開を行う。

①「食育推進事業」

- ・料理教室等の企画・運営

にいがたで生産される米、野菜、果物、魚など本市の特色ある新鮮で多様な食材を組み合わせた調理体験を通じて、「にいがた流 食生活」を推進する。

- ・食育ミニ体験等の実施

新潟の多種多様な食材・食文化・健康づくり等「にいがた流食生活」の実践につながるプログラムの体験を通して、子どもたちを中心とした市民の心と身体の健康や豊かな人間性を育む。

- ・広報

②「花育推進事業」

- ・花とみどりの展示事業

本市自慢の多彩で美しい花とみどりを展示することで、市民に感動を与え、花と緑に囲まれたくつろぎとやすらぎの空間を提供し、併せて、花とみどりの品質の良さを市内外に PR し、ブランドアップにつなげる活動を行う。

- ・花育関連園芸講座・展示会の開催並びに園芸相談の実施

a 花育関連園芸講座の開催

市民のニーズに応えるとともに、新たなイノベーション生み出すような園芸講座を年間を通して計画的に開催する。

b 展示会の開催

園芸愛好団体等と協議のうえ、市民のニーズに応える展示会を開催する。

c 園芸相談の実施

市民が園芸の疑問を解消したり園芸を楽しんだりするために、重要な常設事業として専門の相談員による電話・メール・面談による相談を行う。

・花育体験等の実施

交流イベント等において、アトリウム等を活用して来場者が気軽に花と緑の創作活動を体験し、花や緑への理解や関心を生活の中に取り入れることができるようにする。また、利用者同士やスタッフとの交流を楽しめるように運営する。

③「団体体験プログラムの実施」

- ・豊かな自然環境に囲まれ複合的な機能を持つ「いくとびあ食花」を、校外活動の場として提供する。
- ・団体体験プログラムでの楽しい体験を、家族等での利用のきっかけにしてもらう。
- ・当施設でのプログラムは食や花や緑について関心を持ってもらうきっかけにするとともに、新潟市の誇る「にいがた流 食生活」や「田園型交響都市」などの新しい暮らし方を知り、ふるさと新潟に誇りを持ってもらう。
- ・プログラムの実施に当たっては、子どもたちの主体的な思考や判断が生まれるように、引率者と協働でアクティブラーニングやファシリテーションを実現する。
- ・集団活動の最重要目的としての「人間関係能力の育成」にもつながるようにする。

④「食育・花育の普及啓発の取り組み」

- ・6月の食育月間並びに6月、10月、3月の食育の日は、市と連携し「食育の日」を通じた食育の普及・啓発に努める。
- ・食育関連普及資材を管理し、有効に活用する。
- ・4月、10月の花育月間並びに「花育の日」は、市と連携し「花育の日」を通じた花育の普及・啓発に努める。
- ・食育・花育に関する情報をあらゆる機会・媒体をとらえ、有効に発信する6月の食育月間並びに6月、10月、3月の食育の日は、市と連携し「食育の日」を通じた食育の普及・啓発に努める。

⑤「館内対応業務」

- ・「環境」や「コミュニケーション活動」を整え、センターの根幹を成す事業の一つとして運営する。

⑥「調理実習室及び講座室の利用許可業務」

- ・調理実習室及び講座室は、市民が行う食育及び花育に関する活動の支援、交流の促進、普及啓発、情報の収集や提供等を提供することで、食育・花育の推進に寄与する。
- ・主催事業や一般への貸出等を行い、調理実習室及び講座室の利用促進を進める。

⑦「市と連携した食育・花育の推進」

- ・本市の食育・花育を円滑に推進するための取組を行う。
- ・市との情報・意見交換や業務の調整を図る連絡会議を定期的で開催する。

⑧「市民との協働事業」

- ・施設の管理・運営への参加機会の付与と持続的な運営への参加によるパートナーシップを醸成し、市民参画型の管理・運営を推進する。

⑨「市民サービスに係る業務」

- ・施設利用の増進に加え、公共施設としての各施設目的・機能を発揮するために、プログラム、イベント、体験、研修、展示会等を工夫した8大イベントを開催する。
- ・各施設への各種問い合わせの総合案内を行うとともに、幼稚園・保育園・こども園および学校等や各種団体の団体利用（見学、視察、団体体験プログラム等）の受付を行う。

⑩「広報業務」

- ・より多くの方々に施設を利用してもらうために、効果的かつ効率的な広報宣伝を行う。

⑪「施設運營業務」

- ・必要な計画やマニュアルを策定し、的確に施設運營業務を執り行う。
- ・利用者が当施設の機能や魅力を最大限に味わえるように工夫・運用する。
- ・事故の未然防止を徹底する。
- ・日々の利用・運用状況を確実に把握する。

⑫「施設維持管理業」

- ・各種法令を遵守し、必要に応じて専門機関等に指導を仰ぎながら適切に実施する。
- ・仕様書および特記仕様書に基づき、必要な計画やマニュアルを策定し、的確に施設運營業務を執り行う。また、規定された報告書の作成を行う。
- ・利用者の「癒やし」と「学び」を誘う施設環境を常時工夫、整える。
- ・事故の未然防止を、職員全員の日常点検や連携・利用者のマナーの向上により行う。
- ・作業効率や安全性を高めるために、バックヤード（事務室・倉庫・農業倉庫・ビニールハウス等）の整理・整頓・美化に努める。

⑬「スキルアップ研修」

- ・専門知識や教養・マネージメント能力・ファシリテーション能力・人間力向上を図り、市民にリスペクトされる職員の育成を目指す

3. 管理についての取り組み

1) 管理の方向性

- ・当施設は新潟市の公共施設であり、市民のための施設であることを認識し、施設の利用者が公平・平等に安心して楽しめるよう、また関係法令を遵守し、管理の実施に努める。

2) 予算管理

- ・新潟市からの指定管理料は、市民の税金からなる公金であることを理解し、その執行にあたっては関係法令を遵守し、適正・厳格に処理する。
- ・施設サービスの向上に資するべく、経費の効率的・効果的な執行に努める

3) 人員体制

- ・利用者サービス及び施設の利便性向上を達成するため、職員を適正に配置する。
- ・公共施設の職員として利用者からより満足をいただくための資質向上に努める。

4) 利用者ニーズの把握

- ・公共施設として利用者の要望・ニーズを反映し、施設の利便性、ひいては利用者満足度の向上を図るべく、利用者アンケートを実施するとともに、利用者との日常会話よりホットボイスの収集を行い状況把握に努める

5) 苦情・要望等への対応

- ・利用者からの苦情・要望については、苦情処理基本対応フローに基づき、迅速で丁寧な対応を心掛け、当施設のさらなる発展のための貴重な意見として真摯に受け止め、誠意を持った対応の実施に努める

6) 休館日

- ・原則第 2 及び第 4 火曜日と 12 月 31 日、1 月 1 日を休館日とするが、利用者サービスの観点から校舎の長期休業中は無休とし、また、別紙の通り部分開館日を併用して開館日を設定する。(園芸相談については、毎週火曜日は休業とする。)
- ・年間休館日数は 21 日とする。

4. 維持管理についての取り組み

1) 安全管理業務

- ・利用者が安全・安心して利用できる環境を提供するため、想定されるリスク・想定外のリスクを十分に認識し、安全に対する予防策及び発生時における対応策をマニュアル化し、定期的な訓練と予防策を講じ、安全の確保や緊急対応に繋げる。

2) 施設・設備の維持管理業務

- ・施設の設備目的を達成するために、すべての利用者が楽しく、安全かつ快適に過ごしていただき、「また来たいね」と言ってもらえるよう維持管理に努める。
- ・当グループが蓄積する豊富な維持管理のノウハウを最大限に発揮し、合理的かつ効率的な運営を行う業務計画を立て、これに沿った施設・設備の維持管理に努める。

3) 修繕業務

- ・当グループの維持管理・植栽管理の専門企業が蓄積する豊富なノウハウを最大限に発揮し、日常的な点検管理と修繕業務を効果的に最適な手段で実施することにより、施設のライフサイクルの延命化を図り、コスト削減に努める。

4) 清掃業務

- ・清掃業務計画及び清掃マニュアルを作成し、常に清潔で快適な施設環境を保つため、使用頻度を考慮した清掃業務の提供を行う。
- ・利用者の身体や環境に配慮した洗剤・床洗浄剤・ワックス等の利用を心掛け、適切な管理を行うとともに、不具合が生じた場合は随時更新するなど臨機応変な対応を実施する。

- ・建物保全に寄与できるよう配慮して計画し実施する

5) 植栽管理

- ・利用者の導線や景観を考慮し、施設や植物の特性に応じた維持管理を行い、快適で心地よい空間を創出できるよう植栽管理に努める。

5. 環境への配慮

- ・全職員に対し環境への配慮を常に念頭に置き行動するよう意識付けを図っており、施設・整備の有効活用・再利用を実施し無駄なエネルギー消費や廃棄等の発生の抑制に努めることで環境負荷の軽減に努める。

6. 個人情報保護・情報公開

- ・お預かりした個人情報保護については、「新潟市個人情報保護条例」を遵守し、各施設ともお客様の個人情報をお預かりする目的、その取り扱い等について明確にし、適法且つ公平な手段により収集し、適切に管理する。
- ・情報公開については、「新潟市情報公開条例」を遵守し、事案が発生した段階で新潟市と協議し、法令、個人のプライバシーを鑑みたうえで積極的な公開を実施する。

7. 市内産業振興に対する配慮

- ・当施設からの発注品の選定にあたっては、市内の企業・団体・個人を最優先にする。
- ・発注品についてはコスト削減に留意しながら可能な限り市内産を使用するよう努める。

新潟市動物ふれあいセンター平成 30 年度指定管理事業計画書
概要版

1. 基本方針

- ・動物とのふれあいを通じて人と動物との関わりを学ぶ機会を提供することにより、動物愛護の精神を養い、これを普及させ、もって人と動物が共に暮らす心豊かな社会の実現に寄与する。
- ・効果的・効率的・だれでも楽しめる公平平等な管理運営を実践して新潟市行政施策の推進に最大限努力する。

2. 飼育動物の適正飼育管理

- ・各動物が本来持っている種の特性、習性を十分理解した上で適切な飼養管理を実施し、来場者の満足度と動物福祉を両立させた管理、運営を行う。
- ・環境省発行の「展示動物の飼養及び保管に関する基準」及び「家庭動物等飼養保管技術マニュアル」に基づき、動物の福祉を重視し、健全かつ安全な飼育管理を行い、衛生管理に努める。
- ・管理動物

	動物種	頭数
家畜動物	アルパカ	4
	ヤギ	3
	羊	3
	カピバラ	2
愛玩動物	ウサギ	10
	モルモット	20
	ネコ	30
	犬	5

3. 市民サービスに係る事業の推進

1) 動物ふれあい事業

- ・動物のストレス及び利用者と動物双方の安心・安全に考慮しながら、動物について正しく学び、命の大切さ、やさしい心、思いやりの気持ちを育む動物ふれあい事業を展開する。
- ・新しい飼い主を探している動物の意味を考え、動物を飼うことの難しさや飼うことの責

任を学ぶ機会を提供する。

2) 動物展示事業

- ・来場者が動物に対する正しい知識を習得できるように動物の目的に応じた展示を行う。
- ・環境エンリッチメント（種特有の行動の発現を促して健康や繁殖といった生物機能を向上することで生活環境を改善させる試み）を取り入れた展示、一般来場者はもちろんのこと高齢者、障害者、外国人来場者にも出来るだけ配慮した展示を行う。
- ・畜産動物については、その動物の生理、生態、習性、及び人の生活と家畜との関わりが学習できるように展示を行う。
- ・愛玩動物については、「適正飼育」、「終生飼養」等の啓発普及が促進・推進される事をテーマとして展示を行う。

3) 学習支援、情報発信

- ・動物に関する興味や不安などその目的に応じた知識や情報が得られるよう、動物に関する相談の実施や、動物資料・動物情報の収集に努め、それらを利用者に提供及び情報として発信し、市民・来場者の学習意欲に応えるべく、人と動物に関する、最新で正しい知識の普及、啓発を促進する。
- ・教育機関からの特別メニューや見学・体験などの要望に際しては、その要望を精査し、可能な限り応えるよう対応する。

4) 譲渡会の協力

- ・新潟市動物愛護センターと共催にて、犬と猫の譲渡を推進すべく下記の通り譲渡会を開催する。

犬の譲渡会	月 2 回以上	猫の譲渡会	月 4 回以上
-------	---------	-------	---------

- ・開催日については、新潟市動物愛護センターと相談のうえ、できるだけ多くの希望者が参加できるよう週末、平日でバランスを良く実施するものとし、譲渡対象の動物には、譲渡までに家庭動物としてのしつけ、健康管理を行うものとする。

5) 団体プログラム

- ・いくとぴあ食花全体で取組む団体プログラムは、いくとぴあ食花、動物ふれあいセンターの集客の柱ととらえるとともに、当施設の設置意義、取り組みを理解頂くツールとして積極的に取り組む。
- ・アグリ・スタディ・プログラム、アグリ・ケア・プログラムについても、新潟市の行政施策への貢献として取り組むものとする。

団体体験プログラム種類	16 プログラム
アグリ・スタディ・プログラム種類	5 プログラム
アグリ・ケア・プログラム種類	5 プログラム

4. 管理計画

1) 管理の方向性

- ・公の施設の管理者として、当施設が市民のための施設であることを認識し、利用者が公平・平等に安心して楽しめるよう、また関係法令を遵守し、管理の実施に努める。

2) 予算管理

- ・新潟市からの指定管理料は、市民の税金からなる公金であることを理解し、その執行にあたっては関係法令を遵守し、適正・厳格に処理する。
- ・施設サービスの向上に資するべく、経費の効率的・効果的な執行に努める。

3) 人員体制

- ・展示動物の適正な飼育、利用者サービス及び施設の利便性向上に向け、職員を適切に配置する。
- ・公共施設の職員として利用者からより満足をいただくための資質向上に努める。

4) 利用者ニーズの把握

- ・公共施設として利用者の要望・ニーズを反映し、施設の利便性、ひいては利用者満足度の向上を図るべく利用者アンケートを実施するとともに、利用者との日常会話よりホットボイスの収集を行い状況把握に努める

5) 苦情・要望等への対応

- ・苦情処理基本対応フローに基づき、迅速で丁寧な対応を心掛け、当施設のさらなる発展のための貴重な意見として真摯に受け止め、誠意を持った対応の実施に努める。

6) 休館日

- ・平成 26 年度以降に設定している原則第 2 及び第 4 火曜日、12 月 31 日及び 1 月 1 日を休館日として設定する。
- ・展示動物の福祉及び施設の健全な運営や維持管理を考慮し、上記火曜日以外の火曜日を部分開館日として設定する。
- ・上記日程においても、該当日が休日や集客時期にあたる場合は、お客様サービスを考慮し、通常開館もしくは部分開館として営業することとし、年間休館日数を 21 日、年間部分開館日数を 29 日として営業する。

7) 開館時間

- ・施設の利便性向上の一環として夏休みやクリスマスイルミネーション実施時期において、展示動物の福祉を鑑みつつ新潟市と協議の上、開館時間の延長を検討する。

5. 維持管理の取り組み

1) 施設維持管理業務

- ・仕様書に定める点検基準及び各種関係法令を遵守し、安全かつ快適に利用できる最適な施設維持管理に努める。

2) 修繕業務

- ・当事業体の維持管理の専門企業が蓄積する豊富なノウハウを最大限に発揮し、日常的な点検管理と修繕業務を効果的に実施することで、施設のライフサイクルの延命化を図り、コスト削減に努める。
- ・大規模修繕については新潟市と連携、協議のうえ計画的に進める。

6. 誘客宣伝活動

1) 動物に関する情報提供

- ・利用者が動物に対する正しい知識を習得できるよう、動物資料、動物情報の収集に努め、それらを提供及び情報発信する。

2) イベント・広報展開

- ・来場者の顕在・潜在ニーズを把握すべく施設内のアンケート、日頃の業務の中でも来場者との会話による生のご意見の収集に努め、さらに、各種イベント時にはスポット的に施設やイベントの認知度、イベント内容に関するアンケートを実施し、ここで得た情報を基に、各種専門家を交えた運営ミーティングを定期的で開催して、来場者の意見や要望を検討し、来場者が関心を持てるような企画の立案や、施設運営の改善に活用し、常に、時代と顧客ニーズにあったイベント開催・広報展開を実施することで顧客満足度を向上させ、さらなるリピーターの確保、新規来場者の増加に努める。

3) 利用者サービス向上の実施

- ・いくとびあ食花他施設とイベントの情報を共有し、一体となった広報活動を積極的に実施する。
- ・お越しいただいた全ての来場者にご満足いただき、リピーターになっていただけるよう「おもてなしの心」を持った丁寧な接客対応を常に心がけ実施することで、さらなる利用者サービスの向上に努める

4) 潜在的利用者への誘客活動

- ・動物とのふれあいをより具体的に体験できるプログラムを充実させ、動物について正しく学ぶと共に、命の大切さ、やさしい心、思いやりの気持ちが育まれるような事業を実施することで、これまで当施設を利用したことのない潜在的利用者に対する積極的なアピールを行う。

7. 個人情報保護・情報公開

- ・お預かりした個人情報は「新潟市個人情報保護条例」に基づき、収集の目的、その取扱いについて明確にし、適法且つ適切に管理する。
- ・情報公開については、「新潟市情報公開条例」を遵守し、事案が発生した段階で新潟市担当課と協議し、法令、個人のプライバシーを鑑みたうえで積極的な公開を実施する。

9. その他の取り組み

- ・食と花の交流センターエリア内の多目的広場を活用し、ドッグラン事業など動物とふれあえる各種事業を展開することで、他施設との差別化を積極的にアピールし、動物ふれあいセンターのリピーターの確保、新規来場者の増加に努める。

新潟市こども創造センター平成 30 年度指定管理事業計画書 概要版

1. 基本方針

- ・いくとぴあ食花運営グループは、いくとぴあ食花が多くの方が集い、憩い、楽しみ、学べるエリアとして、自然環境や複合施設の良さを生かした運営を進めることを基本方針とする。
- ・当施設は、妊娠・出産・子育ての一貫した支援を行うことを旨に、確実な理念や創意豊かな事業を展開し、子どもたちや親子や保護者が、年間を通して安全に楽しく豊かに遊び、学び、交わる機会を持ち、創造力や社会性を培い、「自ら生きる力」及び「共に生きる力」を高めることへのお手伝いを使命とする。
- ・公の施設の管理者として、お客様が公平・平等で安心・安全に施設を利用できるよう管理・運営を実践し、新潟市行政施策の推進に最大限努める。

2. 運営についての取り組み

1) 運営の方向性

- ・いつ来ても自ら選び主体的に学び活動できる常設の活動を準備・運営する。
- ・歳時記や活動の意義を実感できる特設の活動を適時展開する。
- ・校園や子供会などの団体が集団学習に生かせる団体体験プログラムシステムの運用を進める。
- ・外部人材による WS・教室等開催やボランティア活動を展開し、協働運営を推進する。
- ・来館者が年間を通して安心と安らぎと夢を持てる環境整備・運用に努める。また、来館者のセルフガイダンス能力を高める働きかけをする。
- ・子育てや造形教育に関する研修の場や機会の提供を進める。
- ・利用者目線に立ったパブリシティや受付を展開する。
- ・いくとぴあ食花の複合施設としての良さを生かす。
- ・最新の脳科学などに基づいた子育てや教育を、適切に来館者に伝えられるスタッフのスキルの向上に努める。

2) 運営の具体的な取り組み

- ・「ものづくり部門」

造形活動を通して、創造することの喜びや楽しさを味わうとともに、自然や生きる上で大切な事柄に気づき考えられるよう支援する。(ものづくりに留まることなく、「いくとぴあ食花」の特性を活かした活動の中で、感動的・印象的な出来事になるように

工夫する。)

・「あそびのひろば部門」

人とのかかわり合いやゆずり合う中で施設環境を生かした活動を通して、大切なコミュニケーション能力を高め身体能力や社会性などの生きる力を自発的に育むことを支援する。また、保護者の子育て支援も行う。

・「鑑賞部門」

当施設で制作した来館者の作品や活動記録動画を展示・放映することにより、活動の理解や意欲の醸成を図る。また、季節に応じ、地域とも連携しながら多彩な事業を実施し、イベントに合わせた飾り付けで館内を彩り、視覚的にも楽しい施設づくりを行う。さらには、造形教育や子育てに関する作品や資料を展示し、造形や子育てへの理解を深める。

・「研修支援部門」

支援者グループの定期的な活動を促し、造形・育児教育のベース基地化を進めとともに、造形教育や育児支援に関する団体の研修の場と機会を提供する。

・「施設活用部門」

利用者が当施設の機能や魅力を最大限に味わえるように、各施設・設備を設置・運用する。

・「イベント部門」

創意工夫のある企画に基づくイベントの開催により、当施設や「いくとびあ食花」全体の魅力を発信するとともに利用者満足度の向上を図る。

・「パブリシティ・申し込み・受付部門」

市報・いくとびあ通信・イベントチラシ・HP等を適切に展開し、当施設の周知や利用意欲の向上を図る。

・「スキルアップ研修部門」

職員の造形教育や育児や組織運営に関する専門的な知識や能力を向上し、当施設の存在価値を高める。

3. 管理についての取り組み

1) 管理の方向性

- ・当施設は新潟市の公共施設であり、市民のための施設であることを認識し、施設の利用者が公平・平等に安心して楽しめるよう、また関係法令を遵守し、管理の実施に努める。

2) 予算管理

- ・新潟市からの指定管理料は、市民の税金からなる公金であることを理解し、その執行にあたっては関係法令を遵守し、適正・厳格に処理する。
- ・施設サービスの向上に資するべく、経費の効率的・効果的な執行に努める

3) 人員体制

- ・利用者サービス及び施設の利便性向上を達成するため、職員を適正に配置する。
- ・公共施設の職員として利用者からより満足をいただくための資質向上に努める。

4) 利用者ニーズの把握

- ・公共施設として利用者の要望・ニーズを反映し、施設の利便性、ひいては利用者満足度の向上を図るべく、利用者アンケートを実施するとともに、利用者との日常会話よりホットボイスの収集を行い状況把握に努める

5) 苦情・要望等への対応

- ・利用者からの苦情・要望については、苦情処理基本対応フローに基づき、迅速で丁寧な対応を心掛け、当施設のさらなる発展のための貴重な意見として真摯に受け止め、誠意を持った対応の実施に努める

6) 休館日

- ・原則第2及び第4火曜日と12月31日、1月1日を休館日とするが、利用者サービスの観点から校舎の長期休業中は無休とし、また、別紙の通り部分開館日を併用して開館日を設定する。
- ・年間休館日数は21日、部分開館日は23日とする。

4. 維持管理についての取り組み

1) 安全管理業務

- ・子どもが安全・安心して利用できる環境を提供するため、想定されるリスク・想定外のリスクを十分に認識し、安全に対する予防策及び発生時における対応策をマニュアル化し、定期的な訓練と予防策を講じ、安全の確保や緊急対応に繋げる

2) 施設・設備の維持管理業務

- ・施設の設備目的を達成するために、すべての利用者が楽しく、安全かつ快適に過ごしていただき、「また来たいね」と言ってもらえるよう維持管理に努める。
- ・当グループ各社が蓄積する豊富な維持管理のノウハウを最大限に発揮し、合理的かつ効率的な運営を行う業務計画を立て、これに沿った施設・設備の維持管理に努める。

3) 修繕業務

- ・当グループの維持管理・植栽管理の専門企業が蓄積する豊富なノウハウを最大限に発揮し、日常的な点検管理と修繕業務を効果的に最適な手段で実施することにより、施設のライフサイクルの延命化を図り、コスト削減に努める。

4) 清掃業務

- ・清掃業務計画及び清掃マニュアルを作成し、常に清潔で快適な施設環境を保つため、使用頻度を考慮した清掃業務の提供を行う。
- ・子どもの身体や環境に配慮した洗剤・床洗浄剤・ワックス等の利用を心掛け、適切な管理を行うとともに、不具合が生じた場合は随時更新するなど臨機応変な対応を実施する。

- ・建物保全に寄与できるよう配慮して計画し実施する

5) 植栽管理

- ・利用者の導線や景観を考慮し、施設や植物の特性に応じた維持管理を行い、快適で心地よい空間を創出できるよう植栽管理に努める。

5. 環境への配慮

- ・全職員に対し環境への配慮を常に念頭に置き行動するよう意識付けを図っており、施設・整備の有効活用・再利用を実施し無駄なエネルギー消費や廃棄等の発生を抑制に努めることで環境負荷の軽減に努める。

6. 個人情報保護・情報公開

- ・お預かりした個人情報保護については、「新潟市個人情報保護条例」を遵守し、各施設ともお客様の個人情報をお預かりする目的、その取り扱い等について明確にし、適法且つ公平な手段により収集し、適切に管理する。
- ・情報公開については、「新潟市情報公開条例」を遵守し、事案が発生した段階で新潟市と協議し、法令、個人のプライバシーを鑑みたうえで積極的な公開を実施する。

7. 市内産業振興に対する配慮

- ・当施設からの発注品の選定にあたっては、市内の企業・団体・個人を最優先にする。
- ・発注品についてはコスト削減に留意しながら可能な限り市内産を使用するよう努める。

平成 30 年度新潟市食と花の交流センター営業時間・休業日一覧

施設	営業時間					休館
日程	4/1～6/30	7/1～9/24 (サマーイルミネーション)	9/25～11/2	11/3～2/11 (ウインターイルミネーション) * 11/3～11/22 : 土日祝日点灯 * 11/23～1/6 : 休館日を除く毎日点灯 * 1/7～2/11 : 土日祝日点灯	2/12～3/31	
情報館	9 : 00～17 : 00	9 : 00～21 : 00	9 : 00～17 : 00	9 : 00～20 : 00	9 : 00～17 : 00	12/11、12/31、1/1、1/22、2/26
キラキラガーデン (展示館含む)	9 : 00～17 : 00 (ガーデン最終入場 16 : 30)	9 : 00～21 : 00 (ガーデン最終入場 20:30) ※昼の部 9 : 00～17 : 00 (ガーデン最終入場 16:30) ※一時閉鎖 17 : 00～18 : 00 ※夜の部 18 : 00～21 : 00 (ガーデン最終入場 20:30) ※8/13～16 は 22 : 00 ま で	9 : 00～17 : 00 (ガーデン最終入場 16 : 30)	9 : 00～20 : 00 (ガーデン最終入場 19 : 30) ※昼の部 9 : 00～15 : 30 (ガーデン最終入場 15 : 00) ※一時閉鎖 15 : 30～16 : 00 ※夜の部 16:00～20:00 (ガーデン最終入場 19 : 30) ※イルミネーション開催日以外 9:00～17:00	9 : 00～17 : 00 (ガーデン最終入場 16 : 30)	上記と同じ
レストラン	11 : 00～21 : 00 (最終入場 19 : 30) ※イベント、季節により延長の可能性有					12/31、1/1
マーケット	10 : 00～18 : 00					12/31～1/3、1/22、2/26
駐車場	24 時間					無休

平成 30 年度新潟市食と花の交流センター料金一覧

施設	料金（税込金額）					
日程	4/1～6/30	7/1～9/24	9/25～11/2	11/3～2/11	2/12～3/31	備考
情報館	無料					
キラキラガーデン (展示館含む)	無料 【イルミ】 実施なし	【昼】 無料 【イルミ】 7/1 から 9/24 まで 大人 500 円 小人 300 円	【昼】 無料 【イルミ】 実施なし	【昼】 無料 【イルミ】 11/11 から 2/11 まで 大人 500 円 小人 300 円	【昼】 無料 【イルミ】 実施なし	<ul style="list-style-type: none"> ●障がい者手帳、療育手帳提示で 100 円引き ●障がい者手帳 1 級・1 種、療育手帳 A の方の介助者 1 名 100 円引き ●JAF 会員は本人合わせて 5 名まで 100 円割引 ●小人＝小・中学生 ●未就学児は無料 ●いくとびあ倶楽部会員は無料 ●20 名以上の団体 50 円割引 ●ニイガタ検定合格者 [1 級合格証提示] 本人：無料、同伴者：団体割引と同額 [2 級合格証提示] 本人：団体割引と同額、同伴者：団体割引と同額 ●毎月 19 日はガーデン入場料昼間無料、イルミネーション大人半額
レストラン	【ビュッフェコース】 大人（中学生以上）男 1,944 円 女 1,728 円 中人（8 歳～小学生）1,080 円 小人（3 歳～7 歳）864 円 3 歳未満無料		【ステーキ食べ放題+ビュッフェコース】 大人（中学生以上）男 2,376 円 女 2,052 円 中人（8 歳～小学生）1,404 円 小人（3 歳～7 歳）972 円 3 歳未満無料		<ul style="list-style-type: none"> ●バイキングスタイル ●アルコールは別途料金（飲み放題設定あり） ●不定期で割引キャンペーン等実施 	
マーケット	商品により異なる					
駐車場	【通常】 入場から 90 分まで無料、90 分以降 6 時間まで 30 分につき 100 円ずつ追加 6 時間以降 24 時間まで 1,000 円 【無料サービス】 いくとびあ食花内のセンター主催及び共催有料体験の受講者、ガーデン入場者（イルミネーション）、レストラン利用者は 90 分無料を加算、但し複数施設を利用した場合でも割引時間の加算はなし。（通常無料時間とあわせて最大 180 分の無料）					【その他の割引】 障がい者手帳、療育手帳、思いやり駐車場利用証をお持ちの方、いくとびあ倶楽部会員

平成30年度 新潟市動物ふれあいセンター営業日程

																															開館日数	休館日数	部分開館日数	
4月	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日		28	2	2
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月				
5月	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	29	2	2
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木			
6月	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日		28	2	2
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土				
7月	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	30	1	4
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火			
8月	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	31	0	4
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金			
9月	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日		28	2	2
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日				
10月	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	29	2	3
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水			
11月	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日		28	2	2
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金				
12月	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	29	2	2
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月			
1月	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	28	3	2
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木			
2月	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日				26	2	2
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木						
3月	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	30	1	2
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日			
年間計																															344	21	29	

休館日
 部分開館日

平成30年度 新潟市食と花の交流センター営業日程

																															レストラン		マーケット		情報館 ガーデン					
																															営業日数	休業日数	営業日数	休業日数	営業日数	休業日数				
4月	1日 日	2日 月	3日 火	4日 水	5日 木	6日 金	7日 土	8日 日	9日 月	10日 火	11日 水	12日 木	13日 金	14日 土	15日 日	16日 月	17日 火	18日 水	19日 木	20日 金	21日 土	22日 日	23日 月	24日 火	25日 水	26日 木	27日 金	28日 土	29日 日	30日 月			30	0	30	0	30	0		
5月	1日 火	2日 水	3日 木	4日 金	5日 土	6日 日	7日 月	8日 火	9日 水	10日 木	11日 金	12日 土	13日 日	14日 月	15日 火	16日 水	17日 木	18日 金	19日 土	20日 日	21日 月	22日 火	23日 水	24日 木	25日 金	26日 土	27日 日	28日 月	29日 火	30日 水	31日 木			31	0	31	0	31	0	
6月	1日 金	2日 土	3日 日	4日 月	5日 火	6日 水	7日 木	8日 金	9日 土	10日 日	11日 月	12日 火	13日 水	14日 木	15日 金	16日 土	17日 日	18日 月	19日 火	20日 水	21日 木	22日 金	23日 土	24日 日	25日 月	26日 火	27日 水	28日 木	29日 金	30日 土			30	0	30	0	30	0		
7月	1日 日	2日 月	3日 火	4日 水	5日 木	6日 金	7日 土	8日 日	9日 月	10日 火	11日 水	12日 木	13日 金	14日 土	15日 日	16日 月	17日 火	18日 水	19日 木	20日 金	21日 土	22日 日	23日 月	24日 火	25日 水	26日 木	27日 金	28日 土	29日 日	30日 月	31日 火			31	0	31	0	31	0	
8月	1日 水	2日 木	3日 金	4日 土	5日 日	6日 月	7日 火	8日 水	9日 木	10日 金	11日 土	12日 日	13日 月	14日 火	15日 水	16日 木	17日 金	18日 土	19日 日	20日 月	21日 火	22日 水	23日 木	24日 金	25日 土	26日 日	27日 月	28日 火	29日 水	30日 木	31日 金			31	0	31	0	31	0	
9月	1日 土	2日 日	3日 月	4日 火	5日 水	6日 木	7日 金	8日 土	9日 日	10日 月	11日 火	12日 水	13日 木	14日 金	15日 土	16日 日	17日 月	18日 火	19日 水	20日 木	21日 金	22日 土	23日 日	24日 月	25日 火	26日 水	27日 木	28日 金	29日 土	30日 日			30	0	30	0	30	0		
10月	1日 月	2日 火	3日 水	4日 木	5日 金	6日 土	7日 日	8日 月	9日 火	10日 水	11日 木	12日 金	13日 土	14日 日	15日 月	16日 火	17日 水	18日 木	19日 金	20日 土	21日 日	22日 月	23日 火	24日 水	25日 木	26日 金	27日 土	28日 日	29日 月	30日 火	31日 水			31	0	31	0	31	0	
11月	1日 木	2日 金	3日 土	4日 日	5日 月	6日 火	7日 水	8日 木	9日 金	10日 土	11日 日	12日 月	13日 火	14日 水	15日 木	16日 金	17日 土	18日 日	19日 月	20日 火	21日 水	22日 木	23日 金	24日 土	25日 日	26日 月	27日 火	28日 水	29日 木	30日 金			30	0	30	0	30	0		
12月	1日 土	2日 日	3日 月	4日 火	5日 水	6日 木	7日 金	8日 土	9日 日	10日 月	11日 火	12日 水	13日 木	14日 金	15日 土	16日 日	17日 月	18日 火	19日 水	20日 木	21日 金	22日 土	23日 日	24日 月	25日 火	26日 水	27日 木	28日 金	29日 土	30日 日	31日 月			30	1	30	1	29	2	
1月	1日 火	2日 水	3日 木	4日 金	5日 土	6日 日	7日 月	8日 火	9日 水	10日 木	11日 金	12日 土	13日 日	14日 月	15日 火	16日 水	17日 木	18日 金	19日 土	20日 日	21日 月	22日 火	23日 水	24日 木	25日 金	26日 土	27日 日	28日 月	29日 火	30日 水	31日 木			30	1	27	4	29	2	
2月	1日 金	2日 土	3日 日	4日 月	5日 火	6日 水	7日 木	8日 金	9日 土	10日 日	11日 月	12日 火	13日 水	14日 木	15日 金	16日 土	17日 日	18日 月	19日 火	20日 水	21日 木	22日 金	23日 土	24日 日	25日 月	26日 火	27日 水	28日 木							28	0	27	1	27	1
3月	1日 金	2日 土	3日 日	4日 月	5日 火	6日 水	7日 木	8日 金	9日 土	10日 日	11日 月	12日 火	13日 水	14日 木	15日 金	16日 土	17日 日	18日 月	19日 火	20日 水	21日 木	22日 金	23日 土	24日 日	25日 月	26日 火	27日 水	28日 木	29日 金	30日 土	31日 日			31	0	31	0	31	0	
年間計																	363	2	359	6	360	5																		

 休館日

 変則営業日(マーケットのみ休業)

 変則営業日(レストランのみ営業)

 変則営業日(マーケット及びレストラン営業日)

平成30年度 新潟市食育・花育センター営業日程

																															開館日数	休館日数	
4月	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	28	2	
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月			
5月	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	29	2
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木		
6月	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	28	2	
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土			
7月	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	30	1
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火		
8月	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	31	0
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金		
9月	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	28	2	
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日			
10月	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	29	2
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水		
11月	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	28	2	
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金			
12月	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	29	2
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月		
1月	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	28	3
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木		
2月	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日				26	2
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木					
3月	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	30	1
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日		
※毎週火曜日(祝日の場合は直後の平日)は園芸相談を行わない。																															年間計	344	21

休館日